

## 地盤調査を行う際の留意点

## (1) 地盤調査の位置等に関する留意点

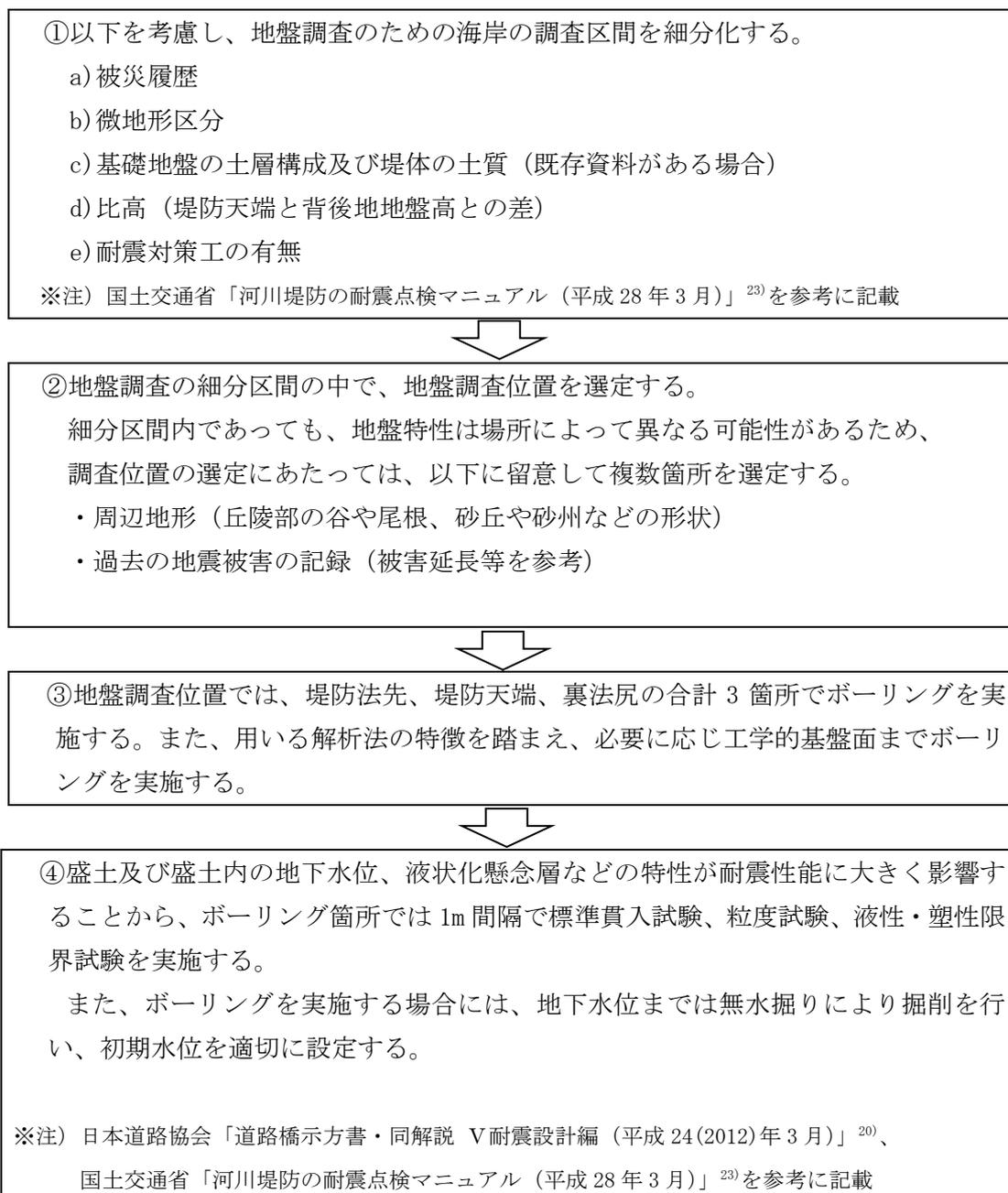


図-5.2.1 地盤調査の位置等に関する留意点

(2) 地盤調査項目に関する留意点

1) 必須項目 (静的・動的照査法共通)

表-5.2.1 地盤調査における必須項目

試験名	備考
標準貫入試験	・土層分割の設定、N値の設定、工学的基盤面の設定、地下水位の設定に必要
粒度試験	・細粒分含有率の設定に必要

2) 静的照査法 (例: ALID)<sup>28)</sup>で重要な項目

表-5.2.2 静的照査法 (例: ALID) における地盤調査項目

試験名	重要度 (※注)		備考
	①	②	
密度試験	△	△	・単位体積重量の設定に必要 ・土質名から一般値の設定可
PS検層	△	◎	・せん断弾性係数の設定に必要 ・N値で一般値の設定可
三軸圧縮試験	△	○	・せん断強度特性の設定に必要 ・砂質土・不飽和土はCD (圧密排水) 試験、粘性土はCubar (圧密非排水) 試験 ・N値で一般値の設定可
繰り返し三軸試験	△	○	・液状化強度比の設定に必要 ・N値、粒度試験から設定可
繰り返しねじりせん断試験	△	○	・動的変形特性、液状化流動解析段階のパラメータの設定に必要 ・既往の提案式で設定可
繰り返し三軸試験後の排水測定	△	○	・過剰間隙水圧消散に伴う体積圧縮特性の設定に必要 ・既往の提案式で設定可

※注) ①: 地盤面の設計震度を用いる場合

②: 工学的基盤面の加速度波形から一次元応答解析により、 $F_L$ (液状化抵抗率)を算出する場合

3) 動的照査法 (例: FLIP)<sup>29)</sup>で重要な項目

表-5.2.3 動的照査法 (例: FLIP) における地盤調査項目

試験名	重要度	備考
密度試験	△	・単位体積重量の設定に必要 ・土質名から一般値の設定可
PS検層	◎	・せん断弾性係数、体積弾性係数の設定に必要
三軸圧縮試験	○	・せん断強度特性の設定に必要 ・砂質土・不飽和土はCD (圧密排水) 試験、粘性土はCubar (圧密非排水) 試験 ・N値で一般値の設定可
一軸圧縮試験	○	・粘性土の粘着力の設定に必要 ・N値で一般値の設定可
繰り返し三軸試験	◎	・液状化強度曲線、過剰間隙水圧の上昇プロセス、ひずみの発生・増加プロセスを踏まえた液状化パラメータの設定に必要
繰り返しねじりせん断試験	○	・最大減衰定数の設定に必要
繰り返し三軸試験後の排水測定	○	・過剰間隙水圧消散に伴う体積圧縮特性の設定に必要 (カテルグラスモデルの場合)

(重要度)  $\left\{ \begin{array}{l} \text{◎: 解析において重要なパラメータを算定する。} \\ \text{○: パラメータの算定に必要であるが、一般的な値でも問題は少ない。} \\ \text{△: 他の試験結果等より、一般的な条件下であれば代替が可能。} \end{array} \right.$